

行仙宿、補給路の拡幅工事など

◇実施日 7月4日 (木) 曇り時々晴

◇参加者 梶野照雄、湯川一郎 2名

梅雨明けはまだだが好天が続いている。お天気がいいうちに少しでも補給路の拡幅を済ませようと思い、湯川君と二人で工事を行った。



登りだす



荷揚げ品



小石を敷く

午前9時過ぎに登山口に着く。湯川君は荷物をモノレールに積んで先に歩いて登っていた。第2ベンチで湯川君に追いついた。大ハンマーをレール脇に置いてきたというので旧終点まで取りに戻った。モノレール終点に着き荷物を降ろして作業を始める。少し下に置いてあるくい丸を取ってきて谷側の斜面に打ち込み、半割の丸太を並べて土留にする。道幅を約20cm広げた。10m程の距離を拡幅し、モノレールで小石を取りに行く。入れ物が少ないので、伐採地まで2往復した。お昼前になり小屋に向かう。



運休のお知らせを外す



板を切り出す



本日の参加者

昼食後、ゆうゆうバス運休のお知らせを外し小屋、管理棟を点検する。チェーンソーを出して2m程の板を4枚切り出した。戸締りを確かめ、切り出した板を持って行仙宿を離れる。モノレール終点で持ってきた板を使い残りを仕上げた。これで割りにくい岩を迂回する広さが確保できた。広げた部分に小石を敷く必要があり、バケツ10杯以上を運ばなければならない。



10m程が完成



間伐材を切る



終点まで運ぶ

使った道具を片付けて下山する。湯川君は先に帰宅、チェーンソーをモノレールに積み、レール沿いにある放置間伐材を半割にする。

この間伐材の利用については山林所有者の了解済みだ。
40分位で2mの丸太を3本切った。出来上がった6本の半割をモノレールに積んで終点に向かう。終点に半割を降ろして、次回の工事に備えた。
下山して、登山口にあった直径10cm位の丸太を半割にしてから帰宅した。
(記；梶野)

行動タイム

補給路登山口 09:18→09:35 モノレール終点 11:35→11:41 行仙宿
12:50→モノレール終点 13:25→補給路登山口 13:43→14:55 モ
ノレール終点→補給路登山口 15:30